

機械器具 06 呼吸補助器
管理医療機器 酸素投与キット (JMDNコード: 12855000)
オキシカート 500

【警告】

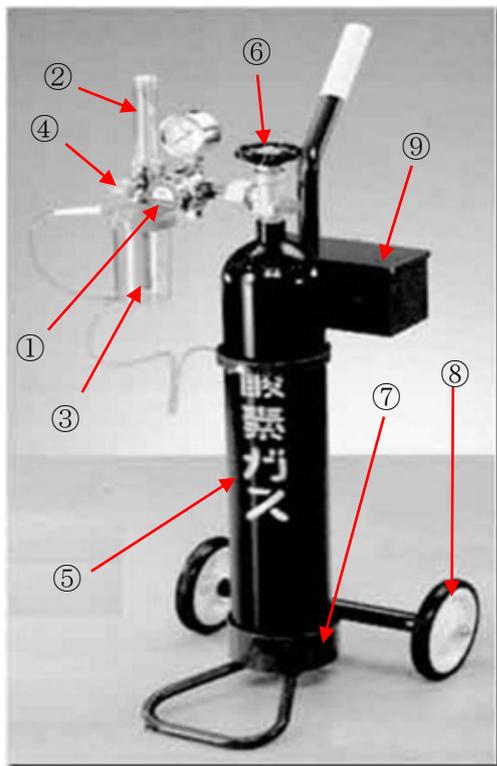
1. 酸素ガスポンペのバルブ等には油脂類を絶対に付着させないこと。
2. 酸素ガスポンペの近くに火を近づけないこと。
3. 異常がある場合は速やかに使用を中止すること。
4. 酸素ガスポンペのバルブは必ずゆっくり少しずつ開けること (断熱圧縮により圧力調整器の故障或いは操作者が負傷する恐れがあるため)

【禁忌・禁止】

1. 日本薬局方酸素以外のガスは使用しないこと。
2. 火気及び発火性・引火性のものを近づけないこと。
3. 金属切削等による火花を発生する処置では本器を使用しないこと。
4. 本製品と電気メス、又はレーザー治療器等を組み合わせ使用しないこと。
5. 本製品は除細動器と併用しないこと。
6. 本製品の各部及び接続パーツ等に油脂類を付着させないこと。
(上記2~6は引火による火傷の恐れがあるため)

【形状・構造及び原理等】

[形状・構造等] **



1. 各部の名称

- ①圧力調整器②流量計③加湿器④流量調節ツマミ
⑤酸素ガスポンペ⑥開閉ハンドル⑦架台⑧台車⑨マスク収納箱

2. 構成品

名 称	数量
酸素吸入用調整器	1
酸素ガスポンペ	1
架台	1
台車	2
マスク収納箱	1

3. 作動原理

酸素ガスポンペの開閉ハンドルを開くと高压ガスとして充填されている酸素ガスが酸素吸入用調整により規定値(0.4±0.05MP)まで減圧される。減圧された酸素ガスは、流量調節ツマミにより調節され、流量計を通り、さらに加湿器内で加湿されてフェイスマスクへ送られる。

(動作保証条件) **

1. 周囲温度: 10~35℃ **
2. 相対湿度: 20~80%RH (結露しないこと) **

【使用目的又は効果】 **

本製品は、高压ガス容器中の酸素ガスを安全な圧力に減圧し、加湿して患者の必要とする量を吸入させることを目的とする。

【使用方法等】 **

1. 準備
1-1. 各部の接続が完全に結合されているかを確認する。特に調整器と酸素ガスポンペの取り付けが完全に行われていることを確認すること。
1-2. 酸素ガスポンペの開閉ハンドルを左(時計の針の逆方向)にゆっくりと少しずつ2回転ほど回して開ける。このとき圧力調整器の圧力計で酸素ポンペの酸素ガスの残量を確認する。
1-3. チューブ付フェイスマスクを接続し、さらにチューブの先端を加湿器に接続する。
1-4. 加湿器のボトルを外し、所定の水位まで蒸留水を入れて元に戻す。
2. 操作
2-1. 酸素ガスポンペの開閉ハンドルを左方向にゆっくり廻す。この際、酸素ガスは高压でボンベ内に充填されているため急激な開閉ハンドルの操作は避けること。
2-2. 流量調節ツマミを廻して酸素ガス流量を調節する。
3. 使用後
3-1. 流量調節ツマミを廻して流量計の浮子が0の位置になることを確認する。
3-2. 酸素ガスポンペの開閉ハンドルを右方向に止まる位置まで廻してガスの流出を止める。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- 3-3. チューブ付フェイスマスクを取り外して収納ボックスに収める。
- 3-4. 長期間使用しないときは加湿器内の蒸留水を取り除いておくこと。
- 3-5. 安全な場所に保管する。
4. 使用後の消毒及び滅菌方法
- 4-1. 使用後はよく清浄し、構成品ごとに薬液消毒及び エチレンオキシサイドガス滅菌を行う。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉 **

1. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) 直射日光や火気、特に裸火を近づけないこと。
 - (2) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - (3) 振動や衝撃を与えないように注意すること。
2. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - (1) 各部が正常に接続され、操作部分が確実に作動することを確認すること。
 - (2) 酸素ガスポンベのガス残量が不足がないことを圧力計で確認すること。
3. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 汚れた手、特に油脂等の付いた手で酸素ポンベの開閉バルブを操作しないこと。
 - (2) 酸素ガスポンベの開閉ハンドルはゆっくり操作し、急激な開閉はしないように注意すること。
4. 機器の使用後は次の事項に注意してください。
 - (1) 使用後は必ず酸素ガスポンベの開閉ハンドルを閉じてください。
 - (2) 使用した器具はよく洗浄、消毒し、次の使用に備えてください。
 - (3) 酸素ガスポンベのガス残量を圧力計で確認し、不足の場合は補充してください。
 - (4) 調整器の取り外しは事前に必ず酸素ポンベのバルブが閉まっていることを確認すること。
5. 酸素ガスポンベの取扱上の注意
 - (1) 禁油（油脂類は絶対に付着させないこと）
 - (2) 禁火（酸素は燃焼作用が強いので火を近づけないこと）
 - (3) バルブを開けるときは圧力計の正面を避けた位置に立ち、できるだけゆっくり開けること。
 - (4) ポンベは定期的に再検査を受けること。

〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉 **

1. 併用禁忌 **

医療機器の名称等 **	臨床症状・措置方法 **	機序・危険因子 **
電気メス **	併用しないこと。 **	引火による火傷の恐れがある。 **
レーザー治療器 **	併用しないこと。 **	引火による火傷の恐れがある。 **
除細動器 **	併用しないこと。 **	引火による火傷の恐れがある。 **

【保管方法及び有効期間等】 **

〈保管方法〉 **

1. 保管場所については次の事項に注意すること。
 - (1) 水のかからない場所に保管すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉 **

No.	点検内容 **	点検頻度 **
1	つまみ等の操作部分が正常に動作することの確認 **	始業前 **
2	設定した流量が、流量計に表示される流量値と合致することの確認 **	始業前 **
3	酸素吸入用調整器と酸素ガスポンベとの接続の確認 **	始業前 **

詳細は保守点検マニュアルを参照のこと。 **

〈業者による保守点検事項〉 **

1 年ごとの定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。 **

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 **

〔製造販売業者〕

株式会社セキムラ

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-28-1

TEL. 03-3966-7736

〔製造業者〕

株式会社セキムラ

〔販売業者（販売店）〕 **

取扱説明書を必ずご参照下さい。